



平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場会社名 サイオテクノロジー株式会社  
コード番号 3744

上場取引所 東

URL <http://www.sios.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員(財務経理担当) (氏名) 小林 徳太郎 TEL (03) 6860-5105  
四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第3四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	3,726	0.8	△162	—	△164	—	△184	—
22年12月期第3四半期	3,698	△9.7	△138	—	△135	—	△167	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第3四半期	△2,124.56	—
22年12月期第3四半期	△1,932.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第3四半期	2,738	1,507	53.9	17,033.56
22年12月期	3,232	1,717	52.3	19,485.56

(参考) 自己資本 23年12月期第3四半期 1,476百万円 22年12月期 1,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年12月期	—	0.00	—	—	—
23年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	5,100	2.3	△250	—	△250	—	△270	—	△3,114.04	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 5「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期3Q	88,744株	22年12月期	88,744株
23年12月期3Q	2,040株	22年12月期	2,040株
23年12月期3Q	86,704株	22年12月期3Q	86,704株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
【第3四半期連結累計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

<当第3四半期連結累計期間の概況>

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、東日本大震災の影響により落ち込んだ経済活動に回復の兆しが見られるものの、依然として不透明な状況であり、企業の情報化投資抑制の動きも継続しています。このような中、当社グループでは、引続き高い市場成長が継続しているクラウドコンピューティング<sup>(\*)1</sup>や、従来からの強みであるオープンソースソフトウェア<sup>(\*)2</sup>に関連する領域での活動強化、及び徹底したコスト削減を推進してきました。

各セグメントの業績は、以下のとおりの結果となりました。

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しています。なお、比較を可能にするため、前年同期は当第3四半期連結累計期間のセグメントに変更したのものとして組み替えて算出しています。

#### ①オープンシステム基盤事業

当事業は、「LifeKeeper」<sup>(\*)3</sup>の更なる拡販に向けて営業・技術・マーケティングの各機能を強化していますが、大規模案件の減少等により前年同期に比べ減収となりました。「Red Hat Enterprise Linux」<sup>(\*)4</sup>は、新規受注金額は堅調に推移しましたが、旧製品が減収となりました。これらにより、売上高は2,812百万円（前年同期比6.3%減）、営業損失は35百万円（前年同期は営業利益22百万円）となりました。

#### ②Webアプリケーション事業

当事業は、「SIOS Integration for Google Apps」<sup>(\*)5</sup>を始めとするクラウド分野の製品・サービス提供に注力しており、導入事例が順調に増加しているほか、Google Apps<sup>TM</sup>の機能拡張サービスである「Gluegent」シリーズを新設し、セキュリティサービスや各種アプリケーションの提供を本格化することで新たな収益獲得にも努めています。また、MFP関連ソリューション<sup>(\*)6</sup>についても、順調に販売が伸長しており、収益への貢献が見られました。なお、受託開発において発生した不採算案件は、利益の押し下げ要因となりましたが、第2四半期において解決終了しました。これらにより、売上高は914百万円（前年同期比31.1%増）、営業損失は126百万円（前年同期は営業損失160百万円）となりました。

これらにより、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,726百万円（前年同期比0.8%増）、営業損失は162百万円（前年同期は営業損失138百万円）、経常損失は164百万円（前年同期は経常損失135百万円）、四半期純損失は184百万円（前年同期は四半期純損失167百万円）となりました。なお、当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）は69百万円（前年同期は115百万円）となりました。

(\*1) クラウドコンピューティング

コンピュータ処理をネットワーク（通常はインターネット）経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。

(\*2) オープンソースソフトウェア（OSS）

ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。

(\*3) LifeKeeper

米国子会社SIOS Technology Corp.（旧SteelEye Technology, Inc.）の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。

(\*4) Red Hat Enterprise Linux

世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。

(\*5) SIOS Integration for Google Apps

Googleが提供する、メール、インスタントメッセージ、スケジュール管理、ワープロ・表計算等をパッケージにしたホスティング型アプリケーションサービスGoogle Appsとお客様の既存の情報システムを直接連携させるサービス。

(\*6) MFP関連ソリューション

平成21年から提供を開始したMFP(Multi Function Peripheralの略、1台でプリンタ、スキャナー、コピー、FAXなどの機能を兼ねる機器など複数の機能を搭載した複合的な周辺機器のこと。)上で操作できる文書管理ソフト「Quickスキャン」等。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### <資産、負債及び純資産の状況>

#### ①資産

流動資産は、受取手形及び売掛金の減少85百万円、前渡金の減少109百万円等の要因により2,169百万円（前連結会計年度末比11.0%減）となりました。

固定資産は、のれんの減少186百万円等の要因により568百万円（同28.5%減）となりました。

この結果、総資産は2,738百万円（同15.3%減）となりました。

#### ②負債

流動負債は、賞与引当金の増加49百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少123百万円、前受金の減少94百万円等の要因により1,124百万円（前連結会計年度末比20.8%減）となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加8百万円、長期借入金の増加8百万円等の要因により106百万円（同10.2%増）となりました。

この結果、負債合計は1,230百万円（同18.8%減）となりました。

#### ③純資産

純資産合計は、利益剰余金の減少184百万円等の要因により、1,507百万円（前連結会計年度末比12.2%減）となりました。

### <キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ43百万円減少し1,081百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

のれん償却額176百万円、前渡金の減少額109百万円、前受金の減少額82百万円等の要因により、営業活動により獲得した資金は133百万円（前年同期は156百万円の獲得）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

固定資産の取得による支出20百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入4百万円等の要因により、投資活動により使用した資金は17百万円（前年同期は44百万円の使用）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出125百万円、リース債務の返済による支出20百万円等の要因により、財務活動により使用した資金は135百万円（前年同期は143百万円の使用）となりました。

**(3) 連結業績予想に関する定性的情報**

通期の業績予想につきましては、平成23年1月31日に公表した業績予想の水準で推移しています。第4四半期においても想定する水準で推移するものと予測しており、当該業績予想の修正はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要（連結の範囲の変更を伴う子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 固定資産の減価償却費の算定の方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより、当第3四半期連結累計期間における営業損失は268千円、経常損失は268千円、税金等調整前四半期純損失は1,818千円増加しております。

#### ② 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

1. 「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失（△）」の科目を表示しております。

2. 前第3四半期連結累計期間において営業外収益「その他」に含めて表示しておりました「還付加算金」は、営業外収益の総額の100分の20を超えることとなったため、当第3四半期連結累計期間において区分掲記しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の営業外収益「その他」に含めておりました「還付加算金」は、119千円であります。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,081,433	1,125,195
受取手形及び売掛金	605,751	691,119
商品及び製品	764	851
仕掛品	22,473	11,621
原材料及び貯蔵品	277	277
繰延税金資産	33,183	16,635
前渡金	349,605	459,558
その他	88,000	145,088
貸倒引当金	△12,294	△13,225
流動資産合計	2,169,196	2,437,122
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	38,202	44,350
その他（純額）	40,718	48,854
有形固定資産合計	78,920	93,205
無形固定資産		
のれん	176,208	362,799
その他	75,710	90,009
無形固定資産合計	251,919	452,808
投資その他の資産		
投資有価証券	51,654	51,654
差入保証金	181,736	182,787
その他	4,633	15,252
投資その他の資産合計	238,024	249,695
固定資産合計	568,864	795,710
資産合計	2,738,060	3,232,832



(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	145,887	197,441
1年内返済予定の長期借入金	1,775	125,000
未払法人税等	34,939	9,529
前受金	747,469	842,014
賞与引当金	49,215	—
引当金	—	2,561
その他	144,722	241,871
流動負債合計	1,124,009	1,418,418
固定負債		
長期借入金	8,225	—
退職給付引当金	91,653	83,316
その他	6,749	13,466
固定負債合計	106,627	96,782
負債合計	1,230,636	1,515,201
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	861,305	861,305
利益剰余金	△413,857	△229,650
自己株式	△48,995	△48,995
株主資本合計	1,879,972	2,064,179
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△403,094	△374,703
評価・換算差額等合計	△403,094	△374,703
新株予約権	15,591	16,966
少数株主持分	14,955	11,188
純資産合計	1,507,423	1,717,631
負債純資産合計	2,738,060	3,232,832

## (2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,698,369	3,726,803
売上原価	2,085,904	2,304,934
売上総利益	1,612,464	1,421,868
販売費及び一般管理費	1,750,494	1,583,881
営業損失(△)	△138,029	△162,013
営業外収益		
受取利息	2,437	782
為替差益	2,814	—
還付加算金	—	856
その他	3,430	231
営業外収益合計	8,681	1,871
営業外費用		
支払利息	3,950	1,258
為替差損	—	3,531
シンジケートローン手数料	2,000	—
その他	1	0
営業外費用合計	5,952	4,790
経常損失(△)	△135,300	△164,932
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	991
新株予約権戻入益	802	1,375
特別利益合計	802	2,366
特別損失		
固定資産除却損	712	205
出資金売却損	542	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,550
特別損失合計	1,255	1,756
税金等調整前四半期純損失(△)	△135,752	△164,322
法人税、住民税及び事業税	47,673	36,666
法人税等調整額	△20,590	△16,548
法人税等合計	27,082	20,118
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△184,440
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4,738	△232
四半期純損失(△)	△167,574	△184,207

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△135,752	△164,322
減価償却費	45,257	44,536
権利金償却費	15,813	10,542
のれん償却額	192,187	176,035
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△931
受取利息及び受取配当金	△2,437	△782
支払利息	3,950	1,258
固定資産除却損	712	205
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,550
売上債権の増減額(△は増加)	156,408	80,125
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,807	△10,765
仕入債務の増減額(△は減少)	△34,511	△51,554
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,753	8,336
賞与引当金の増減額(△は減少)	50,737	49,215
前受金の増減額(△は減少)	△253,002	△82,013
前渡金の増減額(△は増加)	186,722	109,950
未払消費税等の増減額(△は減少)	13,112	△121
その他	△49,792	△54,137
小計	204,966	117,130
利息及び配当金の受取額	2,437	782
利息の支払額	△3,470	△1,359
法人税等の還付額	—	31,290
法人税等の支払額	△47,853	△14,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	156,080	133,503
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△19,046	△11,218
無形固定資産の取得による支出	△25,780	△9,311
差入保証金の差入による支出	△1,195	△1,283
差入保証金の回収による収入	1,452	390
出資金の売却による収入	457	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	4,000
その他	—	△234
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,111	△17,658
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	10,000
長期借入金の返済による支出	△125,000	△125,000
配当金の支払額	△12	—
リース債務の返済による支出	△18,836	△20,174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,849	△135,174
現金及び現金同等物に係る換算差額	△52,394	△24,432
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△84,275	△43,762
現金及び現金同等物の期首残高	1,474,260	1,125,195
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,389,985	1,081,433

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	オープンシステム基盤事業 (千円)	Webアプリケーション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,000,739	697,629	3,698,369	—	3,698,369
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,730	327	2,057	(2,057)	—
計	3,002,469	697,956	3,700,426	(2,057)	3,698,369
営業利益又は営業損失(△)	290,545	△12,382	278,162	(416,192)	△138,029

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製商品及びサービスの系列性、市場の類似性等を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要品目

事業区分	主要品目
オープンシステム基盤事業	LifeKeeper、Red Hat Enterprise Linux、コンサルティング、その他関連製品・サービス
Webアプリケーション事業	ProjectKeeper、Sales Force Automation+、SIOS Integration for Google Apps、Webアプリケーション受託開発、コンサルティング、その他関連製品・サービス

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,436,059	262,309	3,698,369	—	3,698,369
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	48,489	280,872	329,361	(329,361)	—
計	3,484,548	543,181	4,027,730	(329,361)	3,698,369
営業利益又は営業損失(△)	516,770	△238,608	278,162	(416,192)	△138,029

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	米州	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	161,953	85,922	26,235	274,111
II 連結売上高(千円)	—	—	—	3,698,369
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	4.4	2.3	0.7	7.4

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 米州……………米国、カナダ及び中南米諸国

(2) 欧州……………ドイツ、イギリス、フィンランド及びその他欧州諸国

(3) その他の地域……中国、台湾、韓国、豪州及びその他の地域

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、市場・顧客及びテクノロジーを基礎とした部門及び子会社を置き、各部門及び子会社が、OSやミドルウェア等のオープンシステム基盤分野と、業務アプリケーション等のWebアプリケーション分野における、各種製品・サービス提供をしています。

したがって、当社グループは、「オープンシステム基盤事業」及び「Webアプリケーション事業」の2つを報告セグメントとしています。

各セグメントの事業内容は以下のとおりです。

## ・オープンシステム基盤事業

当事業においては、米国子会社SIOS Technology Corp.の製品である「LifeKeeper」等のほか、Linux OSである「Red Hat Enterprise Linux」及びLinux関連ソフトウェアの販売を行っています。また、OSSに関するさまざまな問い合わせに回答する「サイオスOSSよろず相談室」や各種コンサルティングサービスの提供も行っています。

## ・Webアプリケーション事業

当事業においては、Google Apps連携サービス「SIOS Integration for Google Apps」やMFP関連ソリューションの提供のほか、Webアプリケーション製品の販売、企業情報システムの受託開発、各種コンサルティングサービスの提供を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	Webアプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,812,022	914,780	3,726,803	—	3,726,803
セグメント間の内部売上高 又は振替高	840	172	1,012	△1,012	—
計	2,812,862	914,953	3,727,815	△1,012	3,726,803
セグメント損失(△)	△35,989	△126,023	△162,013	—	△162,013

(注) セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## (参考情報)

## 地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

## 売上高

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
3,482,944	137,713	66,664	39,480	3,726,803

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。